

ジェトロは、2026年12月に中国・海南省で開催される「2026海南国際知識産権取引大会」にジャパンプースを設置します。中国市場におけるIPの流通・活用促進や知的財産保護を目的として、本ブースに出展する日系企業を募集します。

■展示会概要

期間：2026年12月25日（金）～27日（日）

場所：Hainan International Convention and Exhibition Center（海南省海口市）

主催者：中国版權協会、中国工業合作協会、海南大学、中国文化促進会

規模：3.8万㎡、約500社 ※昨年実績

展示会公式ウェブサイト：<https://iptchn.com/> ※日本語サイトあり

■ジャパンプビリオン概要

出展面積：18～27平米 ※企業数に応じてジェトロにて配置を決定。

出展場所：2号館（著作権産業テーマ館）、調整中

出展企業数：

＜コンテンツ分野＞ 6社程度

＜非コンテンツ分野＞ 6社程度

出展募集分野：コンテンツ関連、
自動車・スマート製造、
環境・省エネを含むグリーン経済 等

出展費用：無料

ジェトロ負担：ブース代、施工費用、標準備品

企業様負担：出張費、出展物の制作・運送費用等（任意）

※詳細は出展案内書をご確認ください。



※主催者ウェブサイトより引用

海南国際知識産権取引大会 展示会の特徴

(ウェブサイトおよび主催者情報より抜粋)

JETRO

1. 知的財産の事業化・商談に特化

知財取引（コンテンツIP活用・ライセンス・技術移転等）に関わる企業・団体が集結。

2. 幅広い産業分野が出展

コンテンツ・クリエイティブ関連、自動車・スマート製造、グリーン経済（環境・省エネ関連）、農業・海洋イノベーションなど、多様な分野の企業・機関との新たなビジネス連携が期待可能。

3. 有力企業・バイヤーとの商談機会

快手（Kuaishou）、網易（NetEase）をはじめとする大手企業・関連事業者が出展予定。

4. 国際的なビジネスマッチングの場

世界各国の企業・大学・研究機関が参加し、知財・技術取引を促進。会期中には中国版權協会の年次総会も開催されることから、多くの関係者も来場することが見込まれる。

※海南省・華南地域について

海南省は中国政府が推進する海南自由貿易港の中心地であり、国際的な知財・技術取引の促進に注力している。近隣の華南地域（広東省・香港・マカオ）は約1.3億人を擁するグレーターベイエリアとして、中国有数のコンテンツ市場を形成。TencentやNetEaseなどの関連企業も集積しており、日本企業にとって有望なビジネス機会が期待される。また、企業にとって知財保護は重要な経営課題であり、本展示会は業種を問わず、知財保護や模倣品対策に関する情報収集やネットワーキングの場としても活用が可能。